

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン変更点について

室蘭地区サッカー協会

【HKFA ガイドライン改訂について】

8月21日付けで、HKFA ガイドラインについて、改訂版が発出されました。

登録各チームには、道協会より直接、キックオフシステムにて、8/21 に通知されています。

これまでのガイドラインからの修正点は下記の通りです。

- 1, ガイドラインとQ&Aの一体化を図った
- 2, 前回（7月6日版）のガイドラインに各種別委員長や地区協会からの問い合わせに対する回答内容を付加した
- 3, ダイジェスト版の作成（P4～P7）
- 4, 事業実施にあたっての基本的な考え方1, 2を付加（健康チェックシートの提出義務など）
 - * 自宅外通学の高校生の指導者による一括署名を認める
 - * 高校卒業後（例：大学生など）の未成年の保護者署名不要
- 5, 「新北海道スタイル」「北海道コロナ通知システム」「新型コロナウイルス接触確認アプリココア（COCA）のダウンロード」を推奨を明記
- 6, 感染者が出た場合の対応を明記
- 7, チェックリストと健康チェックシートの区別
- 8, 配布・掲示用サインボード（リーフレット）の作成

道協会主催事業（道大会、道南大会等）については、道協会ガイドラインに沿って、運営・開催をお願い致します。

【地区事業に関する対応変更点】

地区事業についても、道協会ガイドラインに準じて対応していきたいと思いますが、下記の点について変更をします。

- (1) 健康チェックシート（運営者・チームスタッフ・選手・審判員）について
添付の新たなチェックシートをご活用下さい。
 - * 自宅外通学の高校生の指導者による一括署名を認める
 - * 高校卒業後（例：大学生など）の未成年の保護者署名不要

※様式の変更可能ですが、記載内容は必要項目として、削除しないで下さい。

(2) 各会場における観戦者の対応について

【入江多目的】

- ・多目的グラウンドフェンス内の山側(公園側)の指定されたエリアでの観戦を可とする。
- ・ピッチから、最低5メートルの規制をする。
- ・ただし、観戦者に対して、下記のことを事前にチーム内で周知・徹底をする。
 - ①具合の悪い人は来場を見合わせてもらう。
 - ②マスクを着用してきてもらう。
 - ③各自2mの間隔をあける。
 - ④大声を出したり、手拍子をしたり等の応援行為をしない。
 - ⑤入場場所にアルコール消毒液を配置し、手指の消毒をしてもらう。
- ・開催日に上記の状況を把握し、必要に応じて、アナウンスを行なう。
- ・上記の対応ができない場合は、フェンス内への入場は禁止とする。

【入江陸上競技場】

- ・正面スタンド、バックスタンドでの観戦を可とする。
 - ・入場は、正面入口・階段を使用しない。両サイドのスタンド入場ゲートのみ。
 - ・ただし、観戦者に対して、下記のことを事前にチーム内で周知・徹底をする。
 - ①具合の悪い人は来場を見合わせてもらう。
 - ②マスクを着用してきてもらう。
 - ③各自2mの間隔をあける。
 - ④大声を出したり、手拍子をしたり等の応援行為をしない。
 - ⑤入場場所にアルコール消毒液を配置し、手指の消毒をしてもらう。
 - ・開催日に上記の状況を把握し、必要に応じて、アナウンスを行なう。
 - ・上記の対応ができない場合は、スタンド内への入場は禁止とする。
-
- ・チーム選手(登録外選手)やチーム関係者と、一般の観客が混在する可能性がある場合には、観戦エリアを区分け、接触しないようにする。

《例》正面スタンド(チーム関係者)とバックスタンド(一般観戦者)など

【まなびの里】

- ・これまでと同様、フェンス内での観戦は不可とする。
(ピッチと観戦エリアの距離が確保できないため)

(3) 感染者が出た場合の対応について

札幌地区・苫小牧地区において、コロナウイルス感染者（いずれも1種所属選手各1名）が発生し、事業の停止や使用会場の休止、濃厚接触者の確認等の対応がされました。いずれも、それ以上の感染者は発生せず、その後、事業は再開をしています。

今後、そうした事態も想定されることから。感染者が発生した場合の情報共有・早急な対応のため、報告フローとマニュアルが作成されています。詳細が分かり次第、各委員会にも伝達をします。

万が一、地区内において、選手・スタッフ・関係者が感染した場合は、早急に協会へのご報告をお願いします。